



# 完熟させ堆肥づくり

## 土から生まれた命 土に返す

桐生市梅田町で20代の若者たちが耕作放棄地を再開墾し、無農薬有機栽培による野菜づくりに取り組みNPO法人(特定非営利活動

法人)の二元気の出るファーム。肥料づくりに大きなこだわりがある。干し草やぬか、落ち葉くず、牛ふんなどを

### 「手際のモノ」

ませ、1年以上かけて完熟させた堆肥(たいひ)は不快なおいが少ない。8割が植物性、2割が動物性の比率だ。

虫に食われるものなども当然出るが、食用に回せない残さも肥料の材料として使い、決して無駄にしない。土から生まれたものを土に戻し、再び生む循環が続いている。



自転車の通勤環境のため健康のため道標

「かきとたハン」 カキは塩差分に切る。3分ほど煮る。2人分卵を溶いて網に入れ、パラパラにため、塩を取り出す。を熱しニンリ、カキを加える。イスターンよう、タフ